

巡検道を歩く



①乗広場で

総勢26人で…
まるごと館の歴史講座でお世話になっている出口修さんが案内役で、11月6日巡検道を歩いてきました。いっお



天気で楽しい一日となりました。

巡検道③のこと

巡検道の三宅碑は馬場町と神

原町の境③にあり、そこから下奈良まで続く2kmの道⑥(近く)を巡検道と言います。江戸時代八幡宮領を形成す



②寝物語国分橋



吉田東子さん絵

る社務・僧坊や住人である社士・百姓の朱印地を巡検するために利用された。社務領や僧坊領などは所司法眼が検見(けみ)の役に。簡単に言えば、役人が地図を持って米の収穫高を調べて歩き、領主の役職によって巡検担当が



③巡検道 1

決まっていたということか。古くは道路の南側を綴喜郡、北側を久世郡と。今久世郡といえぬ玖御山町です。また、近くには寝物語国分橋の碑がありました。

寝物語国分橋 ②

国郡境界伝説「その昔、郡や村の境を決める際、両方の村から同時に出発し出会った場所をその境界としたと



③巡検道 2

いう。しかし出発までにはまだ時間があるから、もう少し休もうと寝こんでしまい、出発の時刻を過ぎてしまう。そのため領域が減ってしまった



当日の行程

どの話から名前がつけられたといひます。碑の前の溝川の橋で綴喜と久世を分けたと言われる。**朱印地?**
この言葉のイメージが中々出来ませんが、それは朱印状(將軍が公家・武家・寺社の所領を確定させる際に発給したもの)によって領有が認められ、課役、年貢を免除された寺社領のことだそうです。



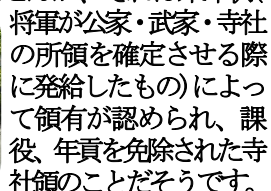
当時八幡宮領では幕府から361通の朱印状を得ていて、361人の領主がいたと単純に考えていいのかなど。それらの地が守護不入…他の武士たちが八幡につ



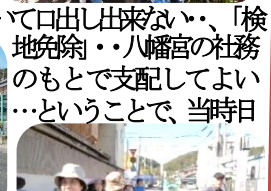
本全国は幕府と藩に支配されていたわけですから、八幡宮領は特別な待遇を受けていたわけです。正法寺のお龜さんの力、それと安吾神事を行なわせて將軍家の天下祈禱を八幡宮に受け



持たせるために多くの朱印状を出したと。その八幡宮領で一番権限を持っていたのが社務



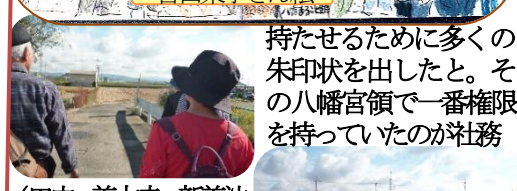
(田中、善方寺、新善法寺、檀)家で、將軍が



でも、そのことは八幡全体の話ではあり



吉田東子さん絵



変るごとにトップも入れ変わる形ができました



大谷川を渡る
八幡宮領とは
順序が逆になりましたが、石清水八幡宮の領地は八幡宮の門前町の内四郷の科手、常盤、山

八幡まるごと館だより

2019年1月4日/107号

<発行>八幡まるごと館//八幡市男山松里12-20
(TEL&FAX) 075-983-3664(9時~17時)
(E-MAIL) yawata@marugotokan.net
ホームページは <http://marugotokan.net/>
又は、八幡まるごと館で検索して下さい



八幡まるごと館は街行く人のだれもが自由に立ち寄れる“地域サロン”です。休館日は毎週火曜日全日と土・日午後です。

路、金振とその外側の外四郷の美豆、際目、生津、川口で、下奈良と戸津(一部)も。宮領は八幡の石高全体の57%に当たるそうです。それ以外の地は幕府や藩等の領地です。美豆、際目、生津は明治初めの木津川の付け替えで、木津川の東側に。今では淀の地名に。

巡検道を歩く

三宅安兵衛遺志の碑「巡

検道」から旧市街地を抜け大谷川を渡るとすっかり田園風景になります。もしかするとこの辺りは当時とあま



り変わっていないのではないのでしょうか。稲を刈り終えた田んぼが殆どでしたが、他には大根



や下仁田ネギなどが元気よく育っていました。のどかな風景です。

蛇行を繰り返すこの道の東の端の下奈良まで所司・法眼が下役の巡検役人を連れて行進したのだそうです。出口さんは先日の歴史の講座「八幡宮遷座以前の八幡」で「那羅郷」のお話を。



この地は古代久世郡那羅郷。今現在の下奈良、上奈良にあ

たる。第29代欽明天皇(510~



570)時「日本書紀」に奈羅として古くから登場しています。

中世以降は八幡宮領、近世は戸津村と合わせて奈良郷だったそうです。畑の中、碑が見えました。獅子塚です。

獅子塚④伝説

「貞観12年(870)7月28日、久世郡二階堂の池に釣り鐘に乗った獅子がおりにきた



④獅子塚碑なので、下奈良に住む大夫が池

から獅子を引き上げ、身を清めて天神社へ引き立てた。鐘は内裏へ引き取り、獅子は八幡宮の神前へ運んだ」と資料から、

八幡宮はまだまだお宝が

今回お沢山の写真で特に苦労しました。出口さんの資料、八幡歴史を探究する



会冊子、会報等参考にさせていただきました。八幡にいながら、数年前までは八幡の

ことを殆ど知らない、出口さんや高井さんに教えて頂き、やっと出発点まで来られました。以前に

も書きましたが、自分が住む町を知ることで、この地



に愛着をもつことが出来ると思うのですが、でも筆者の理解不十分から文章が拙く、読みにく



だけたら嬉しいです。⑤経塚碑

くしい、間違いもあるかと思ひます。ご指摘いた

⑤経塚碑

歩いて行くと大きな工場横の一角にこんもりとした山が。その草木の中に碑がありました。その工場の従業員の方の「三宅さんの碑



正光寺

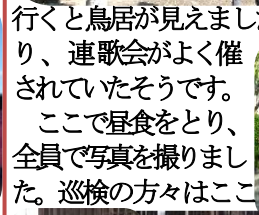
」発言から、過去に碑を訪ねて

来た人がいたことを推測できます。太平記に記述が。

下奈良天神社⑥

⑥天神社

下奈良の住宅の中を歩いて行くと鳥居が見えました。ここは菅原道真を祀り、連歌会がよく催されていたそうです。ここで昼食をとり、全員で写真を撮りました。巡検の方々はこの



からさらに東へ木津川で船に乗って行ったということです。

川口へ...

御池跡という石碑が集落の南入り口にありました。



碑文には「995年この辺

りの池底から天神の尊像が出現し、時の一条天皇はこの地に神社を作るよ



川口天満宮の創建の



下奈良天神社にて

は敵の襲来や川の氾濫・洪水に備える環



濠集落。家屋は石組や盛



御池跡

方と会い、月に2回皆で境内の掃除



⑦川口天満宮

宮領八幡外四郷のひとつだった。

あけとう

ございました。出口さん 参

加者の皆様ありがとうございました。色々あり、楽しい道行でした。今度は4月に。(うえたに)

